

# 一九七九年を迎えて、

## 本誌の復刻刊行を祝う

津 守 真

一九七九年の年頭にあたり、本誌の創刊号から二十巻復刻刊行の案内を掲載できることは、本誌にとって、記念すべきことであると思う。

本誌が、最初、「婦人と子ども」と題して創刊されたのは明治三十四年で、一九〇一年に当る。この雑誌は二十世紀と共に歩み続けてきたことになる。二十世紀の初めは、幼児教育界にとっても大きな転換の時期で、米国では、フレイベル主義の幼稚園が批判されて、丁度抬頭してきた科学的児童研究の支援のもとに、新教育が進められつつある時であった。本誌の創刊は、この新しい幼児教育の動きと連関するものであった。本誌の最初

の編集者である東基吉が後に記しているところによると、お隣りの高等師範学校では、新しい教育主義や教授方法などを盛んに機関雑誌に発表したり、高島平三郎氏が雑誌「児童研究」を出したりしていた。それで、東基吉が附属幼稚園の批評係となつて着任して間もなく、当時、女高師で毎月例会を開いていた保育研究会であるフレイベル会から、保育専門の雑誌として「婦人と子ども」を発刊することとなつたのであるという。

その創刊号からの頁を探つてゆくと、幼稚園の新教育が次第に進められてゆく様子がよく分つて面白い。第十二巻（明治四十五年）より、倉橋惣三が編集者と

なつてからは、わが国の幼稚園の新しい時代が開かれてゆく有様を、目の前に見るような観がある。

明治期の「婦人と子ども」誌には、子どものためのおはなし、巖谷小波の童話や翻訳童話などが毎号掲載され、また、子どもの遊びなどが紹介されて、家庭文化、風俗などの観点からも興味深いものがある。私も、今回、復刻刊行にあたり、久しぶりで、あらためて目を通す機会があり、新たな発見が数々あつて、幼児教育のスピリットになまにふれた喜びを感じる事が屢々であつた。その中のいくつかを断片的であるが記してみたい。

創刊号の表紙は、荒木十畝<sup>シウゴ</sup>によつて描かれている模様図案である。なでしこの花に、ははその葉が配してある。「母蘇に撫子は、母と児に通ぜしめたるなり」と説明が記してある。荒木十畝は、当時、東京女高師の教授となつたばかりの少壮の日本画家であつた。明治三十七年に

は、米國セントルイス市にて開催された万国博覽會に「秋汀群鴨」を出品して、銀牌賞を得られた。その後、多くの名作を画かれ、帝國美術員會員として活躍された。晩年に『東洋画論』という著書がある。その中に、たとえば松を画く場合（私共の大学の會議室に、荒木十畝の松の図がかけて置いている。）あらゆる松を研究してそれぞれの松の形と生活を諒解しておかねばならぬことを説く。野辺の稚松、懸崖松、海浜松それぞれに異なる生活の正直なありのままの姿の告白であり、自然は言葉なくして形を以て告げると言う。一本の松の幹を画くにも、これだけの根底のあることを知らされて心を動かされた。幼児教育の研究というのも、これに共通したことがある。この創刊号の表紙は、当時は地味すぎて評判がよくなかったらしいが、幼児教育研究誌の第一頁にふさわしい画家の作品であると思う。

倉橋惣三が編集者となつて間もない十

二巻四号には、スタンレー・ホール氏の「幼稚園の教育」の紹介がある。「幼稚園は子供に対する新たな世界であります。一度は人工的であつた幼稚園は、漸くにして自然のままな原始的生命を復活して来たのであります。」「吾々はもはや、牧歌を歌う詩人たる要はありません。……温室も芝生も、運動場も木蔭も、小川も池も、皆その中（幼稚園）に備つています」と述べて、幼稚園は子どもを室内から解放して、戸外の自然の中で遊ばせることの必要を論ずる。「新たな幼稚園の機運は、この旧套を破つて、真実なる大自然の心と合致するものでなければなりません。こうして幼稚園の新教育の幕が開かれる。

「幼児の教育」誌の復刻は、それからほぼ八十年を経た現代に、幼児教育のスピリットを伝えてくれる。年頭にあたり、関係者の御尽力により、本誌の復刻刊行の大業がなされることを心から祝うものである。

### 幼児の教育 第七十八巻第一号

一月号 © 定価二五〇円

昭和五十三年十二月二十五日 印刷  
昭和五十四年一月一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行人

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
所フレイベル館にお願いいたします

\*万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。